

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成18年11月9日(2006.11.9)

【公開番号】特開2005-110245(P2005-110245A)

【公開日】平成17年4月21日(2005.4.21)

【年通号数】公開・登録公報2005-016

【出願番号】特願2004-276358(P2004-276358)

【国際特許分類】

H 04 L 12/28 (2006.01)

H 04 B 7/26 (2006.01)

【F I】

H 04 L 12/28 307

H 04 B 7/26 K

【手続補正書】

【提出日】平成18年9月22日(2006.9.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

第一の無線通信デバイスであって、

該第一の無線通信デバイスによるメッセージの送信に応答して第二の無線通信デバイスによって送信されたACKメッセージを受信する能力を有するコントローラと、無線媒体を衝突がないか監視するための衝突検出器と、を備える無線通信デバイス。

【請求項2】

無線通信網内で衝突を検出するための方法であって、

送信したデータに応答してACKメッセージが受信されたか否かを決定するステップと、該無線通信網を監視し、衝突を検出するステップと、を含む方法。

【請求項3】

該監視ステップが、エネルギーレベルを評価し、該エネルギーレベルに基づいて衝突を検出する、請求項2記載の方法。

【請求項4】

該監視ステップが、更に、ペイロードを検出するステップと、検出されたペイロードに基づいて衝突を検出するステップとを含む、請求項3記載の方法。

【請求項5】

該監視ステップが、更に、プリアンブルを検出するステップと、検出されたプリアンブルに基づいて衝突を検出するステップとを含む、請求項4記載の方法。

【請求項6】

該監視ステップが、該方法がデータを送信した後に起動される、請求項2記載の方法。

【請求項7】

該監視ステップが、ACKメッセージ或いはデータヘッダが受信された場合は、衝突は検出しない、請求項2記載の方法。

【請求項8】

無線通信網内で衝突を検出するための方法であって、

送信したデータに応答してACKメッセージが受信されたか否かを決定するステップと、該無線通信網を監視し、測定されたエネルギーレベルが所定の閾値を超える場合に、衝突

を検出するステップと、を含む方法。

【請求項 9】

該監視ステップが、更に、ペイロードを検出するステップを含み、該衝突の検出が更に検出されたペイロードに基づく、請求項 8 記載の方法。

【請求項 10】

該監視ステップが、更に、プリアンブルを検出するステップを含み、該衝突の検出が更に検出されたプリアンブルに基づく、請求項 8 記載の方法。